

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 1202025

政策目標	3 のびやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	13 生涯学習・生涯スポーツの推進	事業優先度	B	
単位施策	5 施設・備品の有効活用	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	スポーツセンター整備事業	見直し年度		
事業期間	平成22年度～平成24年度	担当課	12 教育委員会教育振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	設備整備		#N/A	
事業目標	施設備品一式	ハード/ソフト事業区分	1 ハード事業	
住民参加	2	関係例規・法令名	⇒	
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	平成23年度 事業内容	平成24年度 事業内容	
計画 内容	スポーツセンター設備整備 ・ロビー・ジュタン張替え スポーツセンターアリーナ床改修調査・検討 トイレ改修工事(便器取替)			スポーツセンター設備整備 ・ロビー・ジュタン張替え	・スポーツセンターアリーナ床 調査・研究 ・トイレ改修工事(便器取替)	・スポーツセンターアリーナ床 調査・研究	
	事業費(千円)	5,495	0	0	350	5,145	0
計画 事業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	5,495			350	5,145		
実績 事業 費	事業費(千円)	5,431	0	0	338	5,093	0
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	5,431			338	5,093	0	
関連 事項	(特定財源の詳細等)		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等) ・ロビー・ジュタン張替え	(実施内容等) ・トイレ改修工事(便器取替)	(実施内容等) ・アリーナ床調査・研究
	【評価・実績】		※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持
	第4期総合計画関連 (継続無し)	年度目標値			施設修繕	施設修繕	調査研究
	年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	97%	99%	#DIV/0!	
	全体達成率	0%	0%	6%	99%	99%	
事業進捗状況			☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆		

事業名	スポーツセンター整備事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	生涯教育係主査	櫻井 輝久

平成24年度実施
平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	調査研究								
【抱える課題やニーズは】	施設の老朽化による安全性の問題及び利用者数の減少。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	利用者の利便性の向上及び安全性の確保。	① 調査研究	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>1式</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>1式</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>100.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	1式	実績値	1式	達成度	100.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	1式										
実績値	1式										
達成度	100.0%										
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	安全かつ快適な施設を利用者に提供することにより、スポーツ活動の振興を図る。	②	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> <tr><td>実績値</td><td></td></tr> <tr><td>達成度</td><td>#DIV/0!%</td></tr> </table>	目標年度	年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0!%
目標年度	年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0!%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	調査研究	施設利用者からのニーズの把握、他市町村施設の調査及び資料収集。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	快適なスポーツ環境の提供のため、調査研究は必要である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	緊急な整備課題である、アリーナ床の状況等を把握することで、今後の方向性について検討を図ることができた。
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> 達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	コストをかけず調査し、効率的に実施できた。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	調査研究が目的であるため、公平性は保たれている。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
C	C	
施設利用者からはアリーナ床の危険性が指摘されており改善の要望もあるが、施設全体の具体的なニーズの把握には至っていないため、広く町民の要望を取り上げていく必要がある。	同左	

今後の展開方向
(Action)

継続/拡充	継続/拡充	
スポーツセンター床改修については緊急性が高いことから、後期実施計画において整備予定としているが、施設全体の整備を求める町民の声もあることから、町民アンケートによりニーズを把握した後、今後の方向性について協議していく。	同左	

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止